

**BSE国内対策  
(と畜場・食肉処理関係)  
について**

**国産牛のBSE確認に伴う対策①**

平成13年

- ・ 10月18日～：と畜場でと畜解体される牛の全頭検査
- ・ その理由として
  - ① 牛の月齢を正確に確認することができなかった
  - ② 国内初のBSE感染牛が発見された直後で、検査をした肉としていない肉が流通すること自体への強い不安があった 等

## 国産牛のBSE確認に伴う対策②

平成13年

- ・ 10月18日～：  
と畜場での頭部、せき髄、回腸遠位部の除去、  
焼却の義務化

平成16年

- ・ 2月16日～：  
BSE発生国産の牛せき柱の食品使用の禁止

3

## 国産牛のBSE確認に伴う対策③

平成17年

- ・ 8月 1日～：  
と畜場でと畜解体される21ヶ月齢以上の牛に  
ついて検査を実施

なお、制度変更に伴い生じかねない消費者の不安な心理を払拭し、生産・流通の現場における混乱を回避する観点から、21ヶ月齢未満の牛について地方自治体が自主検査を行う場合は、経過措置（最長3年：平成20年7月まで）として引き続き国庫補助を行う。

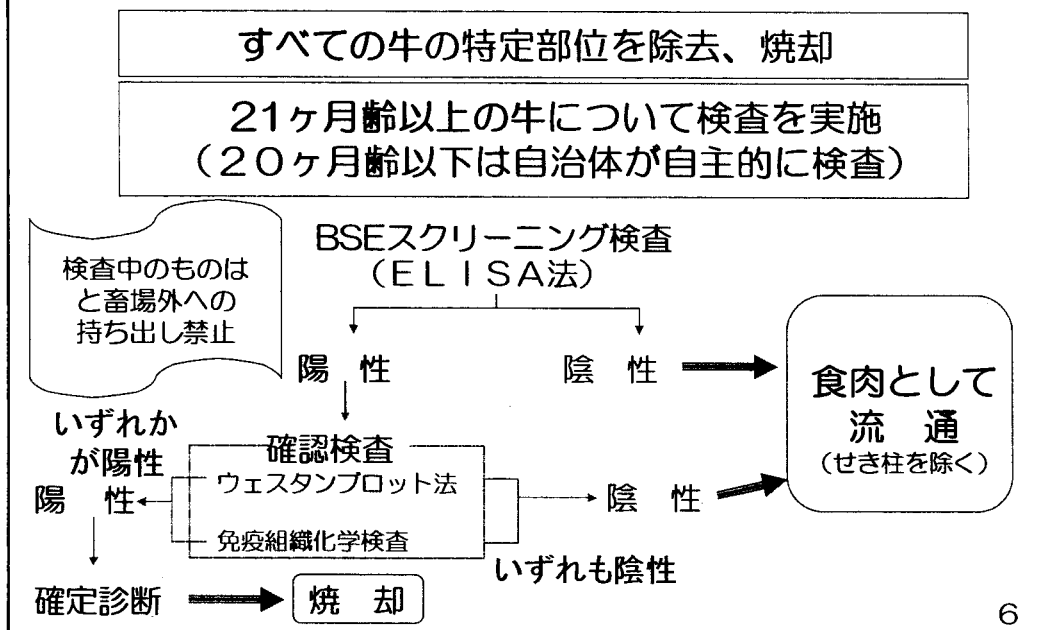
4

## 都道府県等の食肉衛生検査体制

- ・ 牛を処理すると畜場：159施設
- ・ 食肉衛生検査所等：115機関  
(76自治体)
- ・ と畜検査員：2,566名

5

## と畜場におけるBSE対策フロー



6

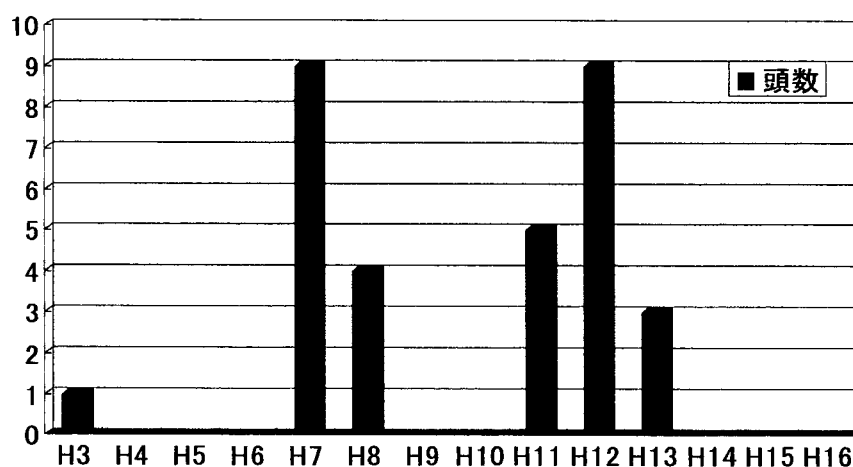
## と畜場におけるBSE検査結果

	検査頭数	BSE確認頭数
平成13年度	523,591	2
平成14年度	1,253,811	4
平成15年度	1,252,630	3
平成16年度	1,265,631	3
平成17年度	1,232,255	5
平成18年度 (12月末日まで)	947,097	2
合計	6,475,015	19

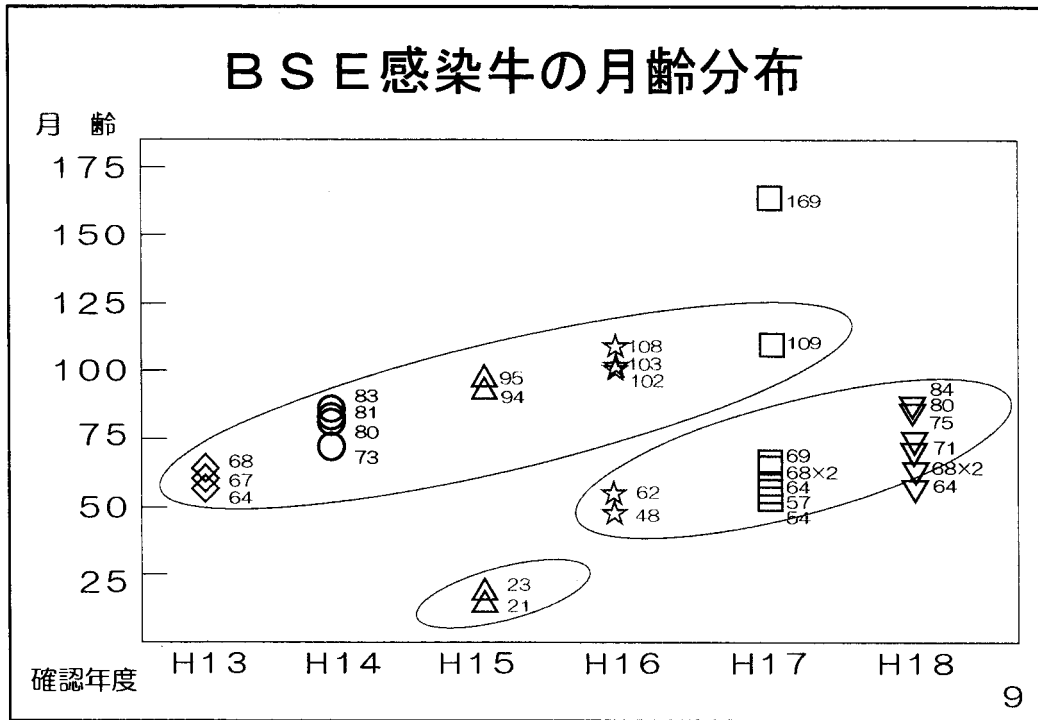
※ 平成13年9月に千葉県で確認された1例目、死亡牛検査で確認された11例を含め、国内では31頭がBSEとして確認

7

## BSE感染牛の出生年度分布



8



### SRM除去の現状

#### 食肉処理における管理要領に基づき除去

- 専用の容器に保管
- 機械器具等の洗浄・消毒
- と畜検査員による確認
- 完全焼却（800℃以上）

<h4 style="text-align: center;">頭部（扁桃を含む）</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 舌、頬肉は食用可</li> <li>➤ 舌は扁桃に接触しないよう除去</li> </ul>	<h4 style="text-align: center;">せき髄</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 背割り前のせき髄除去 高圧洗浄により汚染除去</li> </ul>
<h4 style="text-align: center;">回腸遠位部</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 盲腸から安全率を見込んで2mを除去</li> </ul>	<h4 style="text-align: center;">せき柱</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ せき柱除去時の背根神経節による汚染防止</li> </ul>

10

## BSE対策に関する調査について①

- ・ SRM除去の徹底については、食品安全委員会がとりまとめた我が国におけるBSE対策に係る食品健康影響評価の結果において、「と畜場における実態調査を定期的を実施することはリスク回避に有効である」とされている。

11

## BSE対策に関する調査について②

- ・ と畜場においては、と畜検査員が常駐して監督する中、と畜場と畜業者等が日々、SRMの除去、廃棄及び焼却が行われているが、食品安全委員会の指摘を踏まえ、SRM管理に関する法令や関係通知の遵守状況を確認するため、SRM管理の実態調査を定期的に行うこととしている。

12

## 牛の背割りによるせき髄片の飛散防止について (平成18年10月末現在)

- ・ 牛を処理すると畜場159施設のうち、6施設は背割りを行っていない。
- ・ 残りの153施設の全てにおいて
  - 鋸の歯を洗浄しながら切断し、脊髄を回収
  - 回収した脊髄の焼却
  - 背割り鋸を1頭ごとに洗浄消毒
  - 背割り後、せき柱中の脊髄除去
  - 除去後、高圧水により洗浄
  - と畜検査員が枝肉への脊髄付着がないことを確認

13

## 背割り前のせき髄除去について (平成18年10月末現在)

- ・ 牛の背割りを行っている153の施設中、背割り前にせき髄吸引を行っている施設は、132施設(86.3%)  
と畜頭数ベースでは、96%の牛が背割り前にせき髄吸引されている。  
(数値は平成17年度のと畜頭数をもとに推定)

14

## SRMに係るSSOP(衛生標準作業手順書) について(平成18年10月末現在)

- ・ 牛又はめん羊・山羊のと畜を行っている畜場164施設の全てにおいて、SSOPが作成済みである。
- ・ これらの施設のうち、適正に点検・記録がなされていた施設は124施設
- ・ 点検は実施していたが、記録がなされていない施設が29施設
- ・ 点検・記録が適正になされていない施設が7施設
- ・ その他が4施設
- ・ 適正に点検・記録されていなかった施設については、現在改善中(改善済みを含む)である。

15

## ピッシングに関する実態調査について①

- ・ ピッシングについては、これにより破壊された脳及びせき髄組織が血液循環を介して枝肉を汚染する可能性が指摘されており、また、食品安全委員会がとりまとめた食品健康影響評価において、「食肉のBSEリスクをさらに低減させるため、ピッシングの中止に向けて、具体的な目標を設定し、できる限り速やかに進める必要がある。」とされている。

16



## ピッシングに関する実態調査について②

- ・ 厚生労働省では、従来から食肉の安全性の確保と従事者の安全確保の両立に配慮しつつ、廃止に向けて取り組んでいる。
- ・ 平成17年11月には、3年間のと畜場毎の対応方針を公表

17

## ピッシング中止施設数

	中止施設	実施施設	合計
平成16年 10月末時点	45 (28%)	115 (72%)	160
平成17年 9月末時点	68 (42%)	93 (58%)	161
平成18年 2月末時点	79 (49%)	82 (51%)	161
平成18年 10月末時点	95 (60%)	64 (40%)	159

18

## 今後のピッシング中止予定

	中止施設	実施施設
平成18年10月末	95 (60%)	64 (40%)
平成18年度末 時点	104 (65%)	55 (35%)
平成19年度末 時点	154 (97%)	5 (3%)
平成20年度末 時点	159 (100%)	0 (0%)

19

参考資料

20

## B S E 確認状況について①

	確認年月日	出生年月日	月 齢	品 種(性 別)
1	H13. 9. 10.	H 8. 3. 26.	64	ホルスタイン種(雌)
2	H13. 11. 21.	H 8. 4. 4.	67	ホルスタイン種(雌)
3	H13. 12. 2.	H 8. 3. 26.	68	ホルスタイン種(雌)
4	H14. 5. 13.	H 8. 3. 23.	73	ホルスタイン種(雌)
5	H14. 8. 23.	H 7. 12. 5.	80	ホルスタイン種(雌)
6	H15. 1. 20.	H 8. 2. 10.	83	ホルスタイン種(雌)
7	H15. 1. 23.	H 8. 3. 28.	81	ホルスタイン種(雌)
8	H15. 10. 6.	H13. 10. 13.	23	ホルスタイン種(去勢)
9	H15. 11. 4.	H14. 1. 13.	21	ホルスタイン種(去勢)
10	H16. 2. 22.	H 8. 3. 17.	95	ホルスタイン種(雌)
11	H16. 3. 9.	H 8. 4. 8.	94	ホルスタイン種(雌)
12	H16. 9. 13.	H11. 7. 3.	62	ホルスタイン種(雌)

21

## B S E 確認状況について②

	確認年月日	出生年月日	月 齢	品 種(性 別)
13	H16. 9. 23.	H 8. 2. 18.	103	ホルスタイン種(雌)
14	H16. 10. 21.	H12. 10. 8.	48	ホルスタイン種(雌)
15	H17. 2. 26.	H 8. 8. 5.	102	ホルスタイン種(雌)
16	H17. 3. 27.	H 8. 3. 23.	108	ホルスタイン種(雌)
17	H17. 4. 8.	H12. 9. 11.	54	ホルスタイン種(雌)
18	H17. 5. 12.	H11. 8. 31.	68	ホルスタイン種(雌)
19	H17. 6. 2.	H 8. 4. 16.	109	ホルスタイン種(雌)
20	H17. 6. 6.	H12. 8. 12.	57	ホルスタイン種(雌)
21	H17. 12. 10.	H12. 2. 13.	69	ホルスタイン種(雌)
22	H18. 1. 23.	H12. 9. 1.	64	ホルスタイン種(雌)
23	H18. 3. 15.	H12. 7. 8.	68	ホルスタイン種(雌)
24	H18. 3. 17.	H 4. 2. 10.	169	黒毛和種(雌)

22

### BSE 確認状況について③

	確認年月日	出生年月日	月 齢	品 種 (性 別)
25	H18. 4. 19.	H12. 4. 18.	71	ホルスタイン種 (雌)
26	H18. 5. 13.	H12. 8. 11.	68	ホルスタイン種 (雌)
27	H18. 5. 19.	H12. 8. 20.	68	ホルスタイン種 (雌)
28	H18. 8. 11.	H11. 11. 21.	80	ホルスタイン種 (雌)
29	H18. 9. 28.	H12. 6. 24.	75	ホルスタイン種 (雌)
30	H18. 11. 13.	H13. 6. 28.	64	ホルスタイン種 (雌)
31	H18. 12. 8.	H11. 11. 12.	84	ホルスタイン種 (雌)